

認定NPO法人**3keys**（スリーキーズ）

どんな環境で生まれ育っても、
十分な教育や愛情が受けられる、
すべての子どもの権利が守られる社会を目指して、
学習支援やセーフティーネットづくりを進めています。
3keysとは、
すべての子どもたちに「きっかけ・きづき・きぼう」の
3つのカギを届けたいという思いから付けた名称です。

3keysのあゆみ

2009年4月	都内で任意団体3keysを立ち上げる
2009年6月	児童養護施設向けに「家庭教師型プログラム」の学習支援開始（～2019年）
2010年1月	児童養護施設向けに「教室型プログラム」の学習支援開始
2011年5月	「特定非営利活動法人 3keys」として法人登記
2013年6月	子どもについて学ぶ連続セミナー「Child Issue Seminar」をスタート（2026年3月までに28回開催）
2014年4月	子ども向け「なやみ相談窓口」スタート（～2018年）
2016年4月	10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」東京版開始
2017年3月	東京都より認定NPO法人格取得
2017年6月	10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex（ミークス）」全国版開始
2017年12月	拠点型プログラム「COSTA（コスタ）」開始（～2019年）
2019年2月	子ども向け啓発動画「ミーのなやみ」公開開始（2026年3月時点28本公開）
2020年5,6月	YouTubeオンライン相談会実施
2021年5月	ユースセンター「3（さん）」開設（～2026年3月）
2021年6月	「24時間子供SOSダイヤル」実態調査報告
2021年6月	「白書-日本の子どもたちの今」公開を開始（2026年3月までに22記事公開）
2024年5月	代表・森山が港区の「高校生世代の居場所に関する検討委員会」の委員に就任（～2025年3月）
2025年4月	代表・森山が港区「MINATOビジョン コ・デザイン会議」委員に就任

団体概要

- 正式名称： 特定非営利活動法人3keys
- 所在地： 〒151-0061 東京都渋谷区初台1-51-1 初台センタービル616
- 代表理事： 森山 誉恵（もりやま たかえ）
- お問合せ先： info@3keys.jp



● ホームページ



● Linktree（リンクツリー）



● メルマガ登録



● Facebook



● Instagram

▼メルマガの登録、SNSのフォローでも応援をお願いいたします。

認定NPO法人**3keys**（スリーキーズ）

2025年度 年次報告書

すべての子どもたちが
「子どもの権利」を守られる
社会を目指して



2025年度の主な活動

4月

港区「MINATOビジョン
コ・デザイン会議」に代表・森山が
委員として参加（～継続中）



Mex(ミークス)
公式Instagram開設
(閲覧数121.6万回／～3月)

▶ P5

過去に開催した
Child Issue Seminarの
アーカイブ動画を「思春期・自傷・
不登校・居場所・非行」などの
テーマで再編集し販売
(視聴者数382人／～3月)



8月

オンライン学習支援セミナー実施
(計4回／参加・視聴者数133人／～2月)

▶ P5



クラウドファンディング
「54万人が利用する10代向けサイト
『Mex(ミークス)』拡充プロジェクト
～子どもたちの“声なき声”を支援に
つなげるために」実施（～10月）



11月

ウォーキングイベント
「ORANGE WALK
2025」参加
(エントリー数828人)



クラウドファンディング
「『できた!』の笑顔を、
もっと子どもたちに
届けるために」実施
(～12月)

12月

日本青年心理学会にて
「性の悩み」に関するMexへの
投稿データの分析結果を発表



1-2月

「白書-日本の子どもたちの今」
3名の専門家へのインタビュー
記事公開
(計6本/いじめ・不登校編、孤立・孤独編)



3月

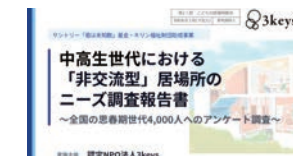
第28回
Child Issue Seminar
「『つながりの過剰』と
『ひとりの安心』～若者が
“つながりを選ぶ”社会を
考える～」開催
(会場・アーカイブ合わせて
参加・視聴者数185人)



▶ P4

2月

全国4,000人への
アンケート結果に基づく
「中高生世代における
『非交流型』居場所の
ニーズ調査報告書」を公表



▶ P4

ユースセンター
「3(さん)」閉館
約5年間の運営実績を
もとに新たなフェーズへ

2025年

4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 2026年 1月 2月 3月

講演・執筆・メディアでの発信

メディア掲載 (一部)

5月

書籍『先生のための
不登校対応サポートブック』
中央法規出版
—Mex(ミークス)に関する
コラム掲載

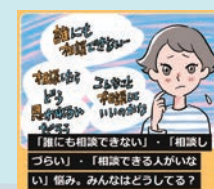


8月

「悩める若者のための
情報ハンドブック」
国立精神・神経医療研究センター
—Mex(ミークス)掲載

10月

東京都Webサイト
「TOKYO YOUTH HEALTH CARE」
—代表・森山監修の記事「『誰にも
相談できない』・『相談しづらい』・
『相談できる人がいない』悩み。
みんなはどうしてる?」掲載



▲本文はこちら

10月

雑誌「Forbes JAPAN」12月号
—3keysが「非営利セクター・
NPO50団体」に選出



3月

ライフスタイルWebメディア
「ナイスコレクション」
—第28回Child Issue Seminar
の紹介記事掲載

▶本文はこちら



3月

朝日新聞デジタル 言論サイト
「Re:Ron(リロン)」
—代表・森山の寄稿文
「『命の重さ』唱える首相答弁
“正しい”言葉は自死考える子
に届くか」掲載

▶本文はこちら



講演

6月

下関大平学園 学習支援勉強会

国際ソロプチミスト東京・東 例会

6月

一般社団法人
新宿NPOネットワーク協議会
「NPO×学生・次世代×ポストSDGs」



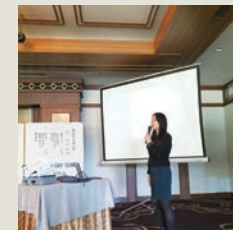
7月

東京都港区
「MINATOビジョン・シンポジウム」



3月

東京四谷ロータリークラブ
例会



3月

映画『そして彼女たちは』
試写付きシンポジウム
「予期せぬ妊娠とその先にあるべきもの」



思春期世代の「居場所」を広げるための活動

10代の子どもたちが安心・安全に過ごせる居場所を社会に増やしていくために、啓発活動や政策提言を実施。2021年から約5年間運営してきたユースセンター「3(さん)」は2025年度をもって閉館しましたが、ここでの実践知をもとに、国や行政、すべての大人たちに向けて、思春期世代に寄り添った居場所の必要性を知っていただくためのはたらきかけを、さらに加速してまいります。

● ユースセンター「3(さん)」閉館

2021年5月より運営してきた10代の居場所「ユースセンター」は、2026年3月をもって閉館いたしました。みなさまのご支援のおかげで、約5年間、無事故・無事件で運営を継続することができました。



● 運営実績(2021年5月～2026年3月)

総運営日数:1469日／登録者数:約480人／延べ利用回数:約7500回／延べ食事提供数:約6900回



食事は栄養バランスの良い日替わりメニュー。子どもたちにも好評でした

シャワーや洗濯機を完備。タオルや着替えも利用できて、夜寝る以外の生活機能が揃っていました

自由に手に取れるお菓子やドリンク。持ち帰りができる食べ物やちょっとした生活用品なども人気がありました

● ユースセンター「3(さん)」とは どのような場所だったのか？

動画やまとめページをぜひご覧ください。

▶動画は
こちら



▶まとめページ:
ユースセンター「3(さん)」
これまでのあゆみと
次の挑戦に向けて



●「3」を利用していた子どもたちの声 (一部抜粋)

“高校に通うことができなかった頃、利用していました。家にも学校にも居心地の悪さを感じていた私にとって、3は何も気にせず休める第3の居場所でした。……安心して過ごせる場所があったからこそ、少しずつ前を向くことができ、次の一歩を踏み出すきっかけにもなりました。あのときに居場所があったことに、今も感謝しています。”

“ひとりで寂しい時間に、誰かとご飯を食べることができて嬉しかったです!孤独を感じる時間が、程よい距離感で、1人を選んでいる時間にできたこと、心が楽になりました。”

● セミナー開催『「つながりの過剰」と「ひとりの安心」～若者が“つながりを選べる”社会を考える～』

2026年3月2日、第28回 Child Issue Seminarを開催(日比谷図書文化館)。筑波大学の土井隆義先生による基調講演や、3keysによるユースセンター「3(さん)」の実践報告を通じ、子どもたちの成長を支える「居場所」の在り方を多角的に掘り下げました。



▶開催レポートはこちら



● セミナー参加者の声 (一部抜粋)

“「非交流型」という自分にとって新しい形の居場所がとても魅力的で、支援に対する姿勢や考え方が本当に素敵だなと思いました。”

“スポットが当たりにくい中高生の葛藤を、さまざまなデータやエピソードから知ることができました。”



児童養護施設などへの「学習支援」の提供

虐待などの厳しい環境に置かれた子どもたちは、言葉や数の知識や学習意欲が不足し、市販の教材では勉強が進まないケースが少なくありません。そこで3keysでは、独自の「スモールステップ教材」を開発し、施設職員の方への定期的な伴走支援を通じて、子どものつまずきに合わせた支援ノウハウを提供しています。



● オンライン支援の本格始動

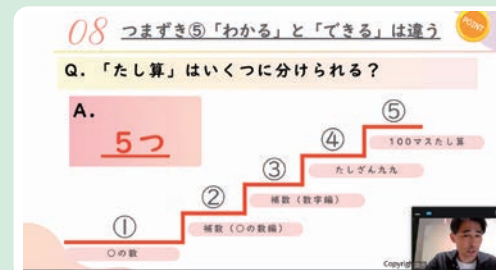
2025年度は児童養護施設など8施設・101名に支援を届けました。オンライン体制の整備により、山口や兵庫などの遠方を含む4施設へのサポートも本格化。今後は、支援先の職員の方に向けたオンラインプラットフォームを強化し、支援ノウハウを凝縮した動画などを共有していく予定です。



支援先の職員の方に向けたオンラインプラットフォーム

● 現場の知見を共有する オンライン研修の実施

8月～2月に単発のオンライン研修を全4回開催し、計133名(施設職員、教員、NPOなど)が参加。17年の実績から得た支援ノウハウや子どもの「つまずき」を共有し、受講者を通じて多様な現場の子どもたちへの支援につなぐことができました。



過去に実施したセミナーより

▶山口県の児童養護施設職員の方へのインタビューです。3keysの学習支援が生んだ現場の変化をぜひご覧ください!



10代向け支援サービス検索・相談サイト「Mex(ミークス)」の運営

「Mex(ミークス)」は、子どもたちが自分で相談先や支援先、悩み解決のヒントとなるコラムや動画を検索できるウェブサイト。家族との関係に困っている、学校に行きたくない、妊娠したかもなど、悩みを抱える子どもたちを支えるためのオンラインの仕組みです。



● 2025年度は年間約31万人が利用 ／公式Instagramを立ち上げました

2025年度は1年間に、31.2万人(49万PV)の子どもたちに利用されました。SNSで情報を探す子どもたちが多いという実態に合わせて、4月にはMexの公式Instagramを開設。Mexに掲載している相談先やコラムをショート動画やスライドに再構成して発信した結果、3月までの7カ月間で121.6万回閲覧されています。



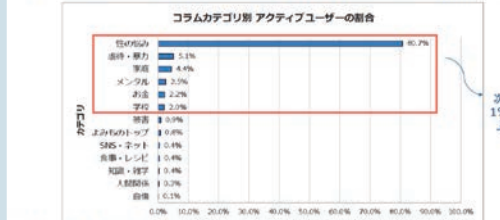
公式Instagramへの投稿より

● 北海道大学との共同研究: データから見えた「性の悩み」を学会で発表

2024年度に続き北海道大学・加藤弘通教授の研究室と共同研究を実施。12月の日本青年心理学会では「思春期『男子』の性」ウェブサイト書き込まれた10代の『悩み』に注目して」と題し、Mexのデータ分析の結果と、支援現場における課題を発表しました。「性」のコラムはMexでも閲覧数が多く、プライベートな悩みだからこそ、正しい知識や相談先が求められている現状が浮き彫りになっています。

どのようなコラムにユーザーが集まっているのか？

- コラムページのアクティブユーザー数(特定の期間にサイトを利用したユーザー数): 233,804人
- コラムカテゴリ別に見ると、「性の悩み」カテゴリが全体の80%を超える

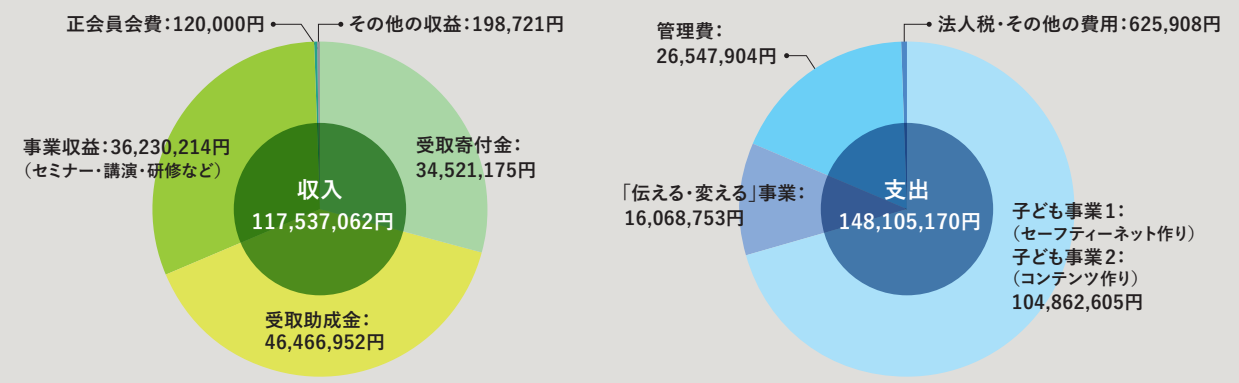


Mexの閲覧状況からは、子どもたちの抱えている悩みが見えてきます(当日の発表資料より)

- 助成金、補助金

ウェスレー財団
公益財団法人CBGMこども財団
公益財団法人JKA
公益財団法人キリン福祉財団
公益財団法人東京都福祉保健財団
子供が輝く東京応援事業
公益財団法人日本フィレンソロピー協会
BSmile募金
コープみらい・中央共同募金会
東京都地域自殺対策強化補助事業補助金
特定非営利活動法人エディック
「サントリー"君は未知数"基金」
パブリックリソース財団 野村グループ
みらい助成プログラム基金
パブリックリソース財団 三菱食品助成金
連合 愛のキャンパ
- 法人寄付等(五十音順)

ALL HOME PAGE 株式会社
Benevity Match
Give One
gooddo株式会社
Island Temporary Nursing
LINEヤフー株式会社
MT EUOSA合同会社
RESTART株式会社
アイディール・リーダーズ株式会社
あもがね助産院
一般社団法人sunnysmile協会
医療法人笑顔会
学校法人昌平翼
株式会社DIGITALIO
株式会社FCDアドバイザー
- 株式会社H&Mコンサルティング
株式会社Kiffy
株式会社PRUN
株式会社SOLIO
株式会社Zoomee
株式会社エイトラス
株式会社エポスカード
株式会社尾賀亀
株式会社グッドパッチ
株式会社サードテクノ
株式会社サイラボ
株式会社新青土地コーポレーション
株式会社セブン&アイ・ホールディングス
株式会社チャリツモ
株式会社電力情報センター
- 株式会社華ひらく
株式会社プロロジス
株式会社保の美
栗山自動車工業株式会社
国際ソロプチミスト東京・東
コングラント株式会社
司法書士法人わかば法律事務所
新宿区総務部総務課
東京紀尾井町ロータリークラブ
特定非営利活動法人日本こども支援協会
運見運送有限公司
ビーブルポート株式会社
ブックオフコーポレーション株式会社
有限会社パークス



2025年度は、収入117,537千円に対し、支出148,105千円となり、当期一般正味財産増減額は▲30,568千円となりました。

2025年度は、制度のはざまにある思春期世代への支援として運営してきたユースセンター「3」をはじめ、学習支援事業やMex事業など、子どもたちへの直接支援を継続するため、これまで蓄積してきた財産も活用しながら事業を実施しました。

ユースセンター「3」は、公的制度による安定的な財源がない中、寄付や民間助成金等を主な財源として運営してきました。コロナ禍には緊急的な助成制度を活用しながら事業を発展させるとともに、5年間の実践を通じて、その必要性や有効性を社会に示してきました。一方で、近年は景気悪化やコロナ終息等を経て助成環境や寄付環境も変化し、民間資金のみでの継続的な運営は厳しさを増していました。そのような中でも、利用する子どもたちへの支援を途切れさせることなく事業を完遂するとともに、自治体による類似事業の創出や政策提言等につなげることができました。今後は、これまでの実践で得られた知見を広く社会に還元しながら、制度のはざまにある子どもたちへの支援の実現に取り組んでまいります。



▲詳しい決算・事業報告はこちら

ご寄付のお願い 3keysの活動はみなさまからのご寄付によって支えられています。今後とも応援をよろしくお願いいたします。

毎月(または毎年)決まった額をご支援いただく「継続寄付」、都度自由な額をご支援いただく「単発寄付」がございます。



▲ご寄付のお申し込みはこちら



▲継続寄付の金額変更はこちら

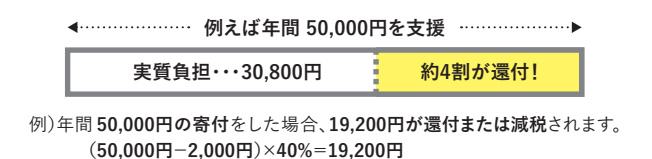
- 銀行
三菱UFJ銀行／大塚支店／普通 0081838／
名義：特定非営利活動法人3keys〈トクヒ〉スリーキーズ
- ゆうちょ
〇一九店／当座00160-3-359322／
名義：特定非営利活動法人3keys〈トクヒ〉スリーキーズ

3keysへのご寄付は、寄付金控除(約4割還付)の対象です

認定NPO法人3keysは、一般的なNPO法人と比べ「より公益性をもっている」と、所轄庁からお墨つきをもらっている「認定」NPO法人です。

認定NPO法人に寄付をした場合、それは納税と同じレベルで社会問題の解決に参加していると国や自治体が認めているということになりますので、確定申告をすることで、寄付額の約40%が所得税より還付または減税されます。

※高額所得者や年間の寄付金額が大きい方は、所得控除が有利になる場合がありますが、多くの場合は【税額控除】を選択したほうが断然お得です。詳しくは、<https://3keys.jp/donation/deduction/> をご参照ください。「3keys 控除」でも検索できます。



～制度のはざまで見えてきた子どもたちの声～

認定NPO法人3keys 代表理事 もりやま たかえ 森山 誉恵

2025年度は、3keysにとって大きな転換点となる一年でした。

私たちはこれまで、虐待や貧困などの背景を持つ子どもたちの声に耳を傾けながら、児童養護施設等での学習支援、10代向け相談・情報提供事業「Mex(ミークス)」、そして思春期世代の居場所づくりなど、制度の隙間にあるニーズに応える活動を続けてきました。

その象徴的な取り組みの一つが、2021年から運営してきたユースセンター「3(さん)」です。家庭や学校以外の10代の居場所として、5年間で473人が登録し、延べ7,500回以上利用されました。利用者からは「何も気にせず休める場所だった」「ここがあったから前を向くことができた」といった声が寄せられ、安心して過ごせる居場所の重要性を改めて実感しました。

また、私たちが全国の中高生4,000人を対象に実施した調査によると、多くの子どもたちが居場所に求めているのは、「誰かと交流すること」よりも「一人で静かに過ごせること」や「知っている人に会わずに済むこと」でした。困難を抱える子どもほど、その傾向は強く見られました。ましてや、いじめ、虐待、孤立など、人間関係で傷ついた経験がある子どもたちにとって、新しい居場所で人間関係を築き直すプレッシャーや、知らない大人に自身の悩みや境遇を伝える怖さは想像を絶するものです。周囲の気持ちや反応を敏感に察知する思春期世代において、この調査結果は当然の心理だと言えます。

人間関係の悩みやいじめから離れ、心と身体を休ませて自分を取り戻す—そうした「心のシェルター」を求める子どもたちが少なくありません。支援というと交流や相談が重視されがちですが、追い詰められている子どもほど、まず必要としているのは「関わり」ではなく「安心して休めること」なのだと私たちは学んできました。こうした調査や実践を通じて見えてきたのは、深刻な生きづらさを抱えながらも、行政の縦割りや

支援対象の区分(はざま)によって相談や保護に至らない子どもたちの存在でした。

ユースセンター「3」は2026年3月をもって閉館しましたが、それは必要がなくなったからではありません。私たちは仕組みそのものを変えていくための新たなスタートと捉え、得られた知見を社会へ還元する取り組みを進めています。実際に、この取り組みを参考にした居場所が自治体で立ち上がり始めているほか、こども家庭庁の検討会でも当法人の実践や調査結果が共有されるなど、少しずつ変化の兆しも見え始めています。

それでもなお、困難を抱える子どもたちへの支援は十分とは言えません。社会全体に余裕が失われつつある中で、声を上げられない子どもほど見えにくくなり、支援からこぼれ落ちやすくなっています。3keysはこれからも、子どもたちの声を出発点に、制度が届いていない領域で必要な支援を実践し、その成果や課題を社会に伝えていきます。すべての子どもが、生まれ育った環境によって権利や機会を奪われることなく、自分らしく生きられる社会の実現を目指して、今後とも取り組みを続けてまいります。



- Profile
慶應義塾大学法学部卒。大学時代、塾講師や家庭教師の経験などから教育格差の現状を知り、児童養護施設での学習ボランティアを開始。在学中、大学生を中心とした任意団体3keysを設立。2011年5月にNPO法人化し、代表理事に就任。2017年3月に東京都より認定NPO法人格取得。現在は現場の支援に加え、現場から見える格差や貧困の現状の発信にも力を入れている。
- 受賞歴
2011年11月 公益財団法人社会貢献支援財団「社会貢献の功績」部門
2016年6月 第30回人間力大賞(青年版国民栄誉賞)
2021年9月 第73回保健文化賞
2021年11月 社会貢献者表彰・奨励賞